

米本土からの派遣要員と航空機 DLE2025任務に備え横田に集結 *Stateside Wingmen, aircraft gather at Yokota to support DLE 2025 missions*

July 18, 2025

By Staff Sgt. Airman Kayla Karelas
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真7月1) 横田基地で7月14日、省レベル演習(DLE)2025の任務支援のために待機中の、第374航空遠征航空団の一部として運用される米空軍のKC-135ストラトタンカー、KC-46Aペガサス、C-130Jスーパーハーキュリーズ、C-130Hハーキュリーズ。

DLEは、米国防総省の全軍種が一体となり、同盟国およびパートナー諸国も参加して実施される、過去数十年で初となる大規模演習シリーズである。計350機以上の統合部隊の航空機、12,000名以上の隊員が、3,000マイル(約4,828キロ)以上にわたる範囲の50以上の拠点で展開される。



1

(写真2) DLE2025の任務支援のために待機中の、第374航空遠征航空団の一部として運用される第36空輸中隊のC-130Jスーパーハーキュリーズ。

このDLE演習を通じて、米空軍省は、あらゆる領域において競合国や敵対勢力に対する優位性を確保し、インド太平洋地域、さらにその先の地域の安定を維持するため、より強力かつ抑止力のある戦力としての態勢強化を進めている。



2